

# よろこび

日蓮宗 御聖会  
本山 妙壽寺  
長春山 本英寺

## 『よみいじむ』四十

日蓮宗の法要 回向供養とは 貫首 齊藤 日軌 日蓮

日蓮宗の法要の意義は、法要の会場となるお寺の本堂等にまず御先祖をお呼び申し上げます。そしてその御先祖の霊に皆様の功德を回してあげる、皆様の真摯な祈りを届けてあげることです。  
「極楽で積む百年間の修行の功德も、この積土（迷苦に満ちた凡夫の住む世界、娑婆世界）で積む一日の修行の功德には及ばない。」（報恩抄）  
と日蓮聖人がお説きのように皆様が、極楽、浄土に住まいの御先祖に代わって功德を積み、そのエネルギーを先祖に差し上げる、回向供養することです。それは南無妙法蓮華経のお題目の力で功德をお渡しするのです。皆様の人に尽くした、お寺に尽くした功德は御先祖と

共有できるのです。  
です。法要では、皆様に、食事を振る舞いお寺にお布施をするのです。此等みなな功德を積み御先祖に差し上げるためなのです。先祖は木の根、子孫はその枝になる果実です。お寺を守り先祖を供養されている家は、喜びが多く子孫が繁栄します。お寺を護り仏事しないから、少子化になるのかもしれません。



## みおしえ

「屋根を粗雑に葺（ふ）いてある家には雨が漏れ入るように入、心を修養してないならば、情欲が心に侵入する。」  
屋根をよく葺（ふ）いてある家には雨の漏れ入ることが無いように、心をよく修養してあるならば、情欲の侵入することが無い。」（法句経十三・十四中村元訳）  
雨漏りは大変ですね。良く整備し気をつけていても、ちよっととした隙間があれば、雨が侵入して建物や管理しなればなりません。普段からしっかりと気をつけて心を観察し、反省し欲望の芽、段からの芽などを摘み取るようにしていきましょう。良き精進して整えられた心が磨き上げていたならば、整備された屋根が雨漏りしないように、心に情欲は侵入しません。

## 心の言葉

南無妙法蓮華経と唱え  
煩惱の芽を摘み取ろう

